

関西の景気ピックアップ【雇用関連（25 年 8 月）】

- 25 年 8 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 2.8%（原数値）と、前年比で 0.1 ポイントの上昇となった。前年比での上昇は 2 か月ぶり。変化の内訳は、就業者数が前年比で横ばいとなり、失業者は 2 万人の増加、非労働力人口は 3 万人の減少となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、25 年 8 月は 1.13 倍（季節調整値）と前月比で 0.02 ポイントの低下となった。ここ半年程度の動きをみる限り、求人倍率の動きに大きな方向感を感じられない。
- このところ、新規求人数の推移には減少傾向がみられる。東京と大阪の推移をみると、まだ東京では減少の動きがみられるわけではないものの、大阪は緩やかな減少傾向をたどっている。これは中小企業の業況悪化が一つの要因とされるだけに、今後の推移が注目される。
- 特に、新規求人の減少は地方圏で顕著となっている。10～11 月には最低賃金の大幅な引上げが控えているだけに、その影響にも注意が必要とみられる。

